

■地域・コミュニティ部会 各委員からの意見の整理

安全・安心～誰もが安心して暮らせる社会の実現

地域コミュニティの促進

絆・つながりづくり

- 年代や役割を超えた複数の重なり合う関係性
- 地縁だけでなく知縁も含めた広域つながりの創造
- 地縁以外の趣味のつながり(デジタル世代のコミュニティ観)
- 安心な地域づくりのための住民相互の助け合い
- 多様な団体の連携・役割分担
- 地域と行政の連携
- 防災訓練等、タイムリーな事業の実施

地域自治意識の醸成

- 地域住民による地域課題解決
- 「やってくれない」から「やらなければいけない」への市民の意識改革の推進
- 地域の長所・取組の蓄積・育成

絆・実践の場

- 高齢者と若者のつながりを生む場の提供
- インターネットなどを介在した支えあいを心で感じる場
- まちセンの自主運営化の促進

広域的な連携

- 過疎の町村との連携による新しいコミュニティづくり
- 広域連携による災害対策、過疎地域への災害支援

札幌における共生型事業モデル

- ①住民組織と専門組織の共生事業
- ②サロン事業・コミュニティカフェ
- ③住まい(市営住宅の改修・空き住宅の活用)と共生事業
- ④家族支援の共生事業

展開の場・情報集積

- 地域の共生型サロンの事業化促進と情報センターの設置

安全安心の確保

- 顔の見える信頼関係を構築できる担い手の養成

共生の基本的考え方

- ①住民・地域ニーズ志向の事業展開
- ②相互関係性の創出
- ③入口から出口までの一貫したケア・対応
- ④地域資源の活用
- ⑤「就労」と「活動」の場の創出
- ⑥事業の継続性

札幌における共生事業の展開の方法

- 形をまねない、地域の実情に応じた「共生事業」の展開
- 「出来上がりの姿」と「事業化プロセス」
- モデル事業の企画提案方式
- プロセスガイドラインの整理
- 活用できる事業の洗い出し

社会的包容力の強化

次世代～次世代を担う人づくり

札幌の将来を支える人材育成

次世代を担う人材育成・教育

- 個々の個性を活かした多様な働き方を学べる仕組みづくり
- 多様な人々が出会い、相互の学び合いにより新たな仕事を創り出せる人材育成
- 産・学・NPO・地域が連携した学びができる仕組みづくり
- 現行制度の下、市政として可能な範囲での札幌市の教育観の反映

若者支援

- ユース・ビジネス・コーディネーター/ユース・コミュニティ・ワーカーの養成

起業支援

- 起業精神・マインドの育成
- 社会的企業の起業化促進
- 道外人材の活用

衡平な教育の機会・支援

- 就学前子育て支援の徹底
- 家庭・学校・地域の連携による基礎学力の保障
- 子どもの参加権利を支援する社会教育の充実

子育てを支援する社会システムの充実